



石原社長定例記者会見概要

2月25日午後3時から、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<編成関連>

下期の視聴率動向では、バラエティが健闘してくれている。金曜日が相変わらず安定していることに加えて、『マツコの知らない世界』『モニタリング』などのファミリー層向けの番組が好調だ。先週は、ゴールデン2位、プライム3位と明るい兆しも出ている。ただ、ドラマはタイムシフト視聴の影響もあるかと思うが、金曜日や日曜日は数字的にはあと一歩。だが、内容面では高い評価をいただいております、今後更に強化していきたい。

今年には戦後70年。TBSがテレビ放送を開始してから60年の記念すべき年でもあり、各ジャンルから特別企画を編成する。まず、『ものづくり日本の奇跡』を放送する。戦後の焼け野原から世界に挑んできた、日本ならではの「ものづくり」に対する「努力」、それを支える人々の「夢」と「情熱」を5夜にわたってお伝えする。3月23日の月曜から木曜の4日間は夜10時54分から11時30分の枠で、その週の土曜日には2時間半にわたって放送する。また、4月クールドラマ日曜劇場『天皇の料理番』を60周年特別企画として放送する。大正から昭和にかけて皇室の台所を預かった秋山徳蔵さんの生涯を描いたもの。

『水曜日のダウンタウン』、『水トク！激闘大家族スペシャル』の番組内で、視聴者の皆さまに誤解を与える内容を放送しました。

この場をお借りして、視聴者の皆さま、関係者の皆さまに改めてお詫び申し上げます。今後、視聴者の皆さまの信頼を裏切ることがないように、現場に厳重注意をするとともに再発防止策を徹底するよう指示したところです。

<営業関連>

タイムセールスは年末年始セールス、1月の実績とも、前年を上回った。今年度の見込みでは、『ものづくり日本の奇跡』が売りに貢献。しかし今年度は『アジア大会』という大きなイベントはあったが、『ソチ五輪』、『世界陸上』があった前年にはわずかに及ばない状況。スポットセールスも、東京地区でも2月、3月は前年実績を下回る見込みで、当社も前年には及ばない見通しだ。こうした状況を受けて、先日発表した第3四半期決算では、TBSテレビの今年度の売上高の予想を、前回の予想より25億円マイナスの2,090億円に、営業利益の予想を14億円マイナスの60億円にそれぞれ下方修正した。

＜事業関連＞

展覧会では、3月14日から3ヶ月にわたり、上野の国立科学博物館で「大アマゾン展」を開催する。約400点もの貴重な資料を展示する過去最大級のアマゾン展となる。TBSテレビが保有する膨大な動物の映像を解説映像として使用するほか、「さかなクン」が公式サポーターで盛り上げる。

赤坂 ACT シアターでは、3月7日から、人間国宝 坂東玉三郎演出、ダンスカンパニー DAZZLE 出演の「バラレー」を上演する。クラシックの名曲とストリートダンスを融合させた玉三郎さんの第4弾プロジェクトだ。

春サカスは、昨年好評だった「ママサカス」の第2弾。「ママサカス 2015～TBS テレビ60周年フェスティバル&春はイースターで遊ぼう！～」と銘打ち、春のお祭りであるイースターをテーマに3月20日から4月5日の17日間にわたって開催する。

＜ラジオ関連＞ TBSR&C 入江社長

東日本大震災から4年となる3月11日、『生島ヒロシのおはよう定食・一直線』は昨年引き続き、生島さんのふるさと気仙沼から公開生放送。夕方の『デイ・キャッチ』では荒川強啓さんが取材を続けている南三陸町でのインタビューを紹介するほか、他の番組でも取り上げる予定。災害時のラジオの役割を意識し、震災で学んだ教訓が風化しないよう伝え続けていきたい。

3月から『浅田真央のニッポンスマイル』がスタート。浅田真央さんラジオDJ初挑戦で6月末までの全18回。北陸新幹線開業当日の3月14日正午には『音でつづる北陸新幹線』（仮題）を放送。生放送、リアルタイムで各所の「音」を紹介していく。

営業関連、1月は引き続きタイム・スポットとも好調を維持し累計でも前年をクリアしているが、2月以降は前年実績のハードルも高く状況は不透明。“新生活応援キャンペーン”やナイター開幕戦などでぎりぎりまで売り上げを伸ばしたい。

以上